

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第52号	令和7年2月10日	伊予市役所	産業建設部 環境政策課
題 目(テーマ)伊予市ゴミゼロ運動の推進について			
提 案 理 由(要旨)			
<p>伊予市内でジョギングしていると道路脇の用水路周辺にプラスチックやペットボトル、缶類が捨てられ散乱している場所もある。</p> <p>このゴミ類は最終的に海に流れ出て、海洋汚染となり、マイクロプラスチック化し、魚類が食べることにより、人体に影響されつつあります。行政は夏場にクリーン運動を推進しているが、この最近では、ゴミ類放置は増えつつあります。できれば、ポイ捨て禁止運動やクリーン運動の頻度を増やし、クリーンな素晴らしい伊予市にすべきかと思えます。</p>			
回 答 内 容			
<p>この度は、「伊予市ゴミゼロ運動の推進について」貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市では、以前に行っておりましたクリーン運動を地域清掃という形式に切り替えました。地域清掃は、6月から11月の期間で地域の皆様で実施日を決めていただき、申請いただいた地域に対し、市が、ごみ袋や汚泥袋の提供と、回収したごみの処分を行っております。クリーン運動とは異なり、夏場の熱中症の懸念を避けることができ、地域の実情に合わせて日時等を柔軟に決定できるため、市民の皆様から概ねご理解をいただき、現在は定着していると考えております。</p> <p>また、海岸につきましては、ボランティア清掃を行う団体にゴミ袋の配布、回収したごみの処分などの支援を行っており、令和5年度には市民団体や企業など 42 団体、延べ2, 267人の方々に海岸清掃にご協力をいただきました。</p>			

さらに、企業や学校と連携し、各種イベントや環境学習会を毎年開催しております。令和5年度には、9月に郡中小学校の環境学習に講師として職員を派遣し、世界と本市の海洋ごみの現状について、理解を深めました。10月には、南海放送主催、太陽石油株式会社協賛の清掃活動イベントに職員を派遣し、海洋ゴミの分別方法の説明や、回収したごみの処分等を行いました。

今後も地域清掃、ボランティア清掃に対する支援、環境イベント等を積極的に進め、本市の美化活動を一層強化してまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。